



Neb:o

ShieldPit

シールドピット

取扱説明書

保証書付き

対象年齢
1～11歳頃

対象体重
9～36kg



ご使用いただく前に

この度は「チャイルドシート ShieldPit<シールドピット>」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書をよく読み、十分に理解の上正しく使用してください。
お読みになったあとも、取扱説明書収納ポケットにて大切に保管してください。

- 本製品はチャイルドシート基準である UN ECE R44/04 に適合する、グループ 1 (9 ~ 18kg) ユニバーサル仕様 (汎用型)、グループ 2、3 (15 ~ 36kg) セミユニバーサル (準汎用型) のチャイルドシートです。
- 本製品に使用している ISOFIX はチャイルドシート基準である UN ECE R44/04 に適合しています。ISOFIX を使用して車両に固定する場合はセミユニバーサル仕様 (準汎用型) のカテゴリーに区分されます。
- ISOFIX 取り付けバーを装備した座席には ISOFIX 取付けをしてください。
- ISOFIX 型チャイルドシートの取付け許可された座席に取付けることができます。
ただし、ISOFIX 取り付けバーを装備した全ての座席に取付けられるものではありません。
車両メーカーが示す位置、車両の取扱説明書を参照してください。
車種適合表につきましては下記 URL より確認してください。
<http://www.nebio.jp/childseat/>
※車種適合表一覧は適宜更新しております。

チャイルドシートは、交通事故の場合に、お子さまの損害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、チャイルドシートを使用するときは必ず保護者の方が同乗してください。

表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため、重要な事項を『危険』、『警告』、『注意』の表示にて説明しています。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分しております。大変重要な内容となりますので、必ずお守りください。

表示	表示の内容
 危険	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
 警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
 注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害が起こる可能性が想定されます。

目次

■ ご使用いただく前に	1	■ ISOFIX ベース・ISOFIX コネクター	
■ 表示について	2	■ ISOFIX ベースの引き出し方法	25
■ 目次	3	■ ISOFIX コネクターの取出し方法	28
■ 安全にご使用いただくために	5	■ ISOFIX の取付け方法	
■ 取付けできる座席	8	□ ISOFIX を取付ける前の準備	29
■ 取付けできない座席	10	□ 車両への取付け方法	29
■ シートベルトの種類と確認	11	■ チェックリスト	33
■ 梱包内容	13	■ ISOFIX ベース・バーの収納方法	
■ 各部の名称	15	□ 車両からの取外し	34
■ お子さまの体重に合わせた使用方法	17	□ ISOFIX ベース・バーの収納方法	34
■ カップホルダー		■ ヘッドレストの高さ調節	
■ 取付け方法	19	■ ヘッドレストの高さの目安	35
■ 取外し方法	20	■ ヘッドレストの高さ調節方法	36
■ インパクトシールドの使用方法	21	■ リクライニング	37
■ 本体への設置方法	22	■ ①リクライニングレバーを使用する方法	38
■ 調節方法		■ ②リクライニングレバーを使用しない方法	40
□ 引き出し方法	23	■ チェックリスト	41
□ 押し込み方法	24	■ インパクトシールドモードの使用方法	42
		■ お子さまを乗せる前の準備	42
		■ お子さまの乗せかた	43
		■ 走行前のチェックリスト	48

■ ジュニアシートモードの使用方法	49
■ お子さまを乗せる前の準備	50
■ お子さまの乗せかた	51
■ 走行前のチェックリスト	54
■ 背もたれの取外し方法 (ジュニアシート→ブースターシート)	
■ 取外し前の準備	55
■ 背もたれの取外し方法	56
■ ブースターシートモードの使用方法	57
■ お子さまを乗せる前の準備	58
■ お子さまの乗せかた	59
■ 走行前のチェックリスト	61
■ 背もたれの取付け方法 (ブースターシート→ジュニアシート)	
■ 背もたれの取付け方法	62
■ シートカバー	
■ インパクトシールド	64
□ 取外し方法	64
□ 取付け方法	66
■ ヘッドレスト・背もたれ	
□ 取外し方法	68
□ 取付け方法	73
■ ブースターシート	
□ 取外し方法	77
□ 取付け方法	79
■ お手入れ	
■ シートカバーの洗濯方法	81
■ 本体のお手入れ	82
■ インパクトシールドのお手入れ	82
■ 製品情報	
■ 本体サイズ	83
■ 材質	83
■ 保管方法	84
■ 廃棄方法	84
■ 取扱説明書の保管方法	84
■ 保証書	85

安全にご使用いただくために



危険

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- エアバッグが装備された座席では、本製品を使用しないでください。
衝突時、エアバッグの作動により衝撃を受け、大変危険です。
- 使用条件に適合しないお子さまや、取付けできない座席などでは使用しないでください。
- 車両の座席の種類などにより、取扱説明書通りにチャイルドシートを固定できない場合は、使用しないでください。
- お子さまがチャイルドシートの上に立ち上がったり、中腰になったりしないように注意してください。
- **インパクトシールドモードでご使用の場合は**、車両シートベルトが肩ベルトガイド、インパクトシールドのベルトガイドを通り、車両バックルに差し込まれていることを確認してください。
- **ジュニアシートモードでご使用の場合は**、車両シートベルトが肩ベルトガイド、腰ベルトガイドを通り、車両バックルに差し込まれていることを確認してください。
- **ブースターシートモードでご使用の場合は**、お子さまを座らせた際に車両シートベルトが正しい位置で調節されていることを確認してください。
- 車に取付ける際は、車両の取扱説明書および本書・本体表示に従い正しく取付けてください。
- 車に取付ける際は必ず車両シートベルトで取付けてください。
- ISOFIX 取付けバーを装備した座席には ISOFIX 取付けをしてください。



緊急時

緊急時は、保護者の方が車両シートベルトを外してすみやかにお子さまを解放し、車外に脱出させてください。



警告

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- 車両シートベルトは正しい長さに調節し、ゆるんだ状態で使用しないでください。
- 車両シートベルトに傷などがある場合は、その座席に取付けないでください。
- 衝突事故や本製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。
- チャイルドシートにお子さまが座った状態で運ばないでください。
- 短時間でもお子さまを車内に1人で放置しないでください。日差しの強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また、予期せぬ事故の原因となります。必ず保護者の方が同乗してください。
- **ジュニアシートモードでご使用の場合は**、必ず肩ベルトガイド、腰ベルトガイドを使用してください。衝突時、車両シートベルトが肩から外れて危険です。
- **インパクトシールドモードでご使用の場合は**、お子さまの背中とお尻が本品の背もたれに密着するように座席に深く座らせてください。インパクトシールドをお子さまの胸にしっかりと密着させてください。
- **チャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合は**、固定機能を動かさないでください。お子さまが締め付けられ、胸部が圧迫されます。



警告

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- シフトレバーやパーキングブレーキなど、操作に支障をきたす場合は、助手席に取付けないでください。
- 2ドアや3ドアの車両で後部座席に人が乗車する場合は、助手席には取付けないでください。
- お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず車両シートベルトで固定してください。ブレーキをかけた時など、車内に転がり、運転の妨げになることがあります。

安全にご使用いただくために



注意

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- 直射日光があたると、本体が熱くなり、お子さまがやけどをするおそれがあります。
日差しが強い日は、日陰に駐車するか、チャイルドシートに付属のカバーをかけてください。
また、お子さまを座らせる前に各部を触り、熱くないことを確認してから使用してください。
- 走行中はチャイルドシートの操作及び調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがチャイルドシートに触らないよう注意してください。
- チャイルドシートを通常の椅子として使用すると、転倒して怪我の原因になります。
本書に記載されていない使いかたをしないでください。
- チャイルドシートを車のシート可動部や、ドアなどにはさまないよう、十分注意してください。
- チャイルドシートの改造や不当な修理は絶対にしないでください。
- お子さまだけの乗り降りはさせず、必ず保護者の方が乗せ降ろしをしてください。
- シートカバーなどの縫製部分を外したまま使用しないでください。
また、本製品以外のものと取替えたりしないでください。
(衝突時の安全性能に影響を及ぼすおそれがあります)
- 車両の座席に、クッションや座布団を敷いてチャイルドシートを取付けないでください。
チャイルドシートがしっかり固定されません。
- 座席の表皮素材(皮など)及び、形状によっては、取付けた車両の座席に傷がつくおそれがあります。
- チャイルドシートを雨風にさらさないでください。
- 固定されていない物を、車内に置かないでください。急ブレーキや衝突時、お子さまに当たるおそれがあります。
- 使用歴のわからない中古のチャイルドシートは絶対に使用しないでください。

取付けできる座席

危険

3点式シートベルト以外の座席では絶対に使用しないでください。



使用可能なシートベルト

- 3点式手動調節シートベルト
- 3点式巻取り装置付きシートベルト

警告

2点式シートベルトの座席では使用できません。

警告

- ・ 3点式シートベルトでお子さまを拘束してください。
- ・ ISOFIX 取付けバーを装備した座席には ISOFIX 取付けをしてください。

取付けできる座席

本製品は ISOFIX 型チャイルドシートの取付けを許可された座席に取付けることができます。

ただし、ISOFIX 取付けバーを装備した全ての車両に取付けられるものではありません。

ご使用いただく際は、必ず車種適合表で確認してください。

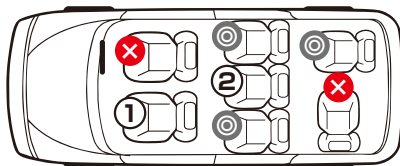
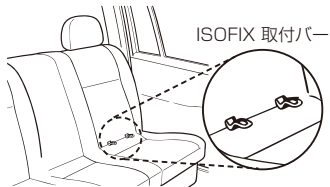
本製品は UN/ECE 規則 NO.16 に準拠している、または他同等の基準を満たしている3点式シートベルトを装備した車両に限り、使用に適しています。

シートベルトの種類により取付け方が異なったり、取付けられない場合があります。

※車種適合表は下記 URL より確認してください。

<http://www.nebio.jp/childseat/>

車種適合表一覧は適宜更新しております。



- ◎ 正しい設置位置
- ✕ 誤った設置位置
- ① エアバッグが装備されていなければ設置可能
- ② ISOFIX 取付けバーがある場合のみ設置可能

取付けできない座席



注意

下記条件のいずれか1つでもあてはまる場合は、その座席への設置・使用は不可

※下記以外の座席でも、チャイルドシートをしっかりと固定できない場合は設置・使用しないでください。

●フロントエアバッグ装備の座席。

※サイドエアバッグのみの場合は使用可能です。

●進行方向に対して、横向きまたは後ろ向きの座席。

●座面の形状に高低差があり、取付けた際に不安定になる座席。

●極端なバケットシート

※座面の中心部分が深く凹んでいる座席。

●シートベルトが付いていない座席。

●2点式シートベルトの座席

●パッシブシートベルトの付いた座席。

※パッシブシートベルトとは

⇒車の座席に座ってドアを閉めると、自動的にシートベルトを装着してくれる装置

●座席の凹凸が極端で、取付けた際に不安になる座席。

●シートベルトに損傷がある座席。

●座席以外のピラーやドア等の車両構造物に本製品が接触する座席。



ポイント より安全に使用していただく為に、後部座席での使用をおすすめします。



注意

本革の座席に使用すると、取付け跡が残る場合があります。

シートベルトの種類と確認



注意

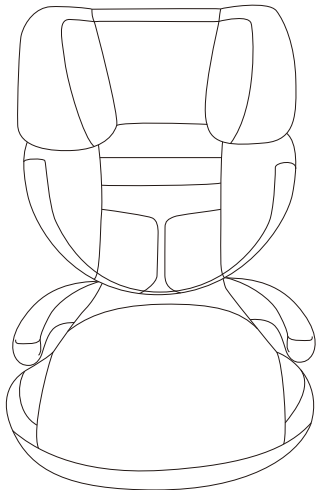
シートベルトの種類により取付けができない場合があります。
シートベルトの種類は、車両の取扱説明書を確認してください。

 **ポイント** 車種適合表につきましては下記 URL より確認してください。
<http://www.nebio.jp/childseat/>

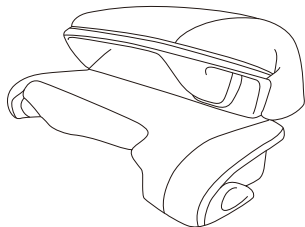
シートベルトの種類と特徴		取付け方法と注意事項	
種類	特徴	インパクトシールド	ジュニアシート ブースターシート
ELR	ゆっくり引くと自由に出入りし 勢いよく引くとロックします。	ゆっくりとシートベルトを 引き出して取付けてください。	
AELR	シートベルトを全て引き出した 後で巻き戻すとシートベルト固 定機能が働き、それ以上伸びな くなります。	シートベルトを全て引き出すと危険です。シートベルトを一度戻 して、チャイルドシート固定機能を解除して取付けてください。	

シートベルトの種類と特徴		取付け方法と注意事項	
種類	特徴	インパクトシールド	ジュニアシート ブースターシート
NR	巻き取り装置のついていないシートベルト。	チャイルドシートにあわせてシートベルトの長さを調節してチャイルドシートに取付けてください。	
NLR	ロック機能のない巻き取り装置付きシートベルト。		
ALR	シートベルトを引き出す途中で止めるとロックされ、それ以上引き出せなくなります。	シートベルトを途中でロックさせないよう、全てのシートベルトを引き出してから取付けてください。	本製品は使用できません。
その他	上記特徴にあてはまらないもの	本製品は使用できません。	

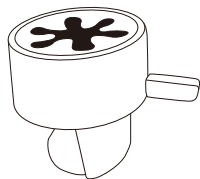
梱包内容



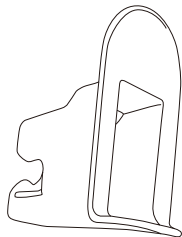
本体



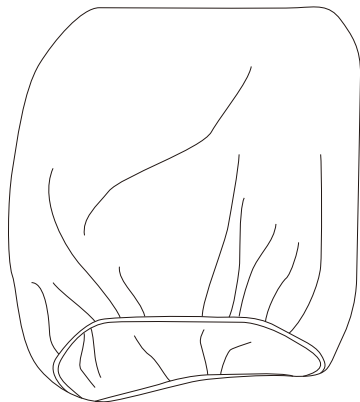
インパクトシールド



カップホルダー



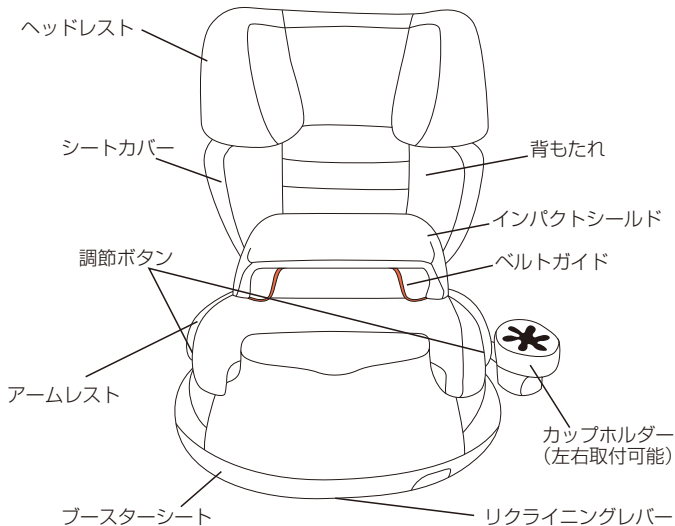
ISOFIX キャップ



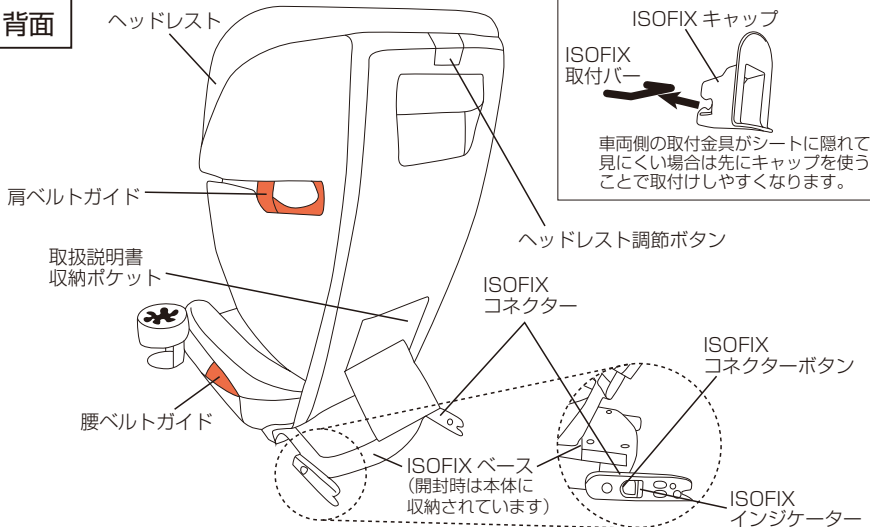
カバー（日除け・保管用）

各部の名称

前面



背面



お子さまの体重に合わせた使用方法

本製品はお子さまの体重に合わせて3つのモードで使用します。
ECE R44/04 に合格

体重の条件	インパクトシールドモード 9 ～ 18kg	ジュニアシートモード 15 ～ 36kg	ブースターシートモード 15 ～ 36kg
使用の状態			
取付け方法	車両シートベルト+ISOFIX (ISOFIX 取付けバー装備の車両のみ)		
使用条件	体重が 15kg を超える までは必ず インパクトシールド を使用してください	お子さまが成長し、 肩の高さが肩ベルト ガイドの位置よりも 高くなった場合は ブースターシートモードへ 切り替えてください	車両シートベルトが お子さまの首にかかる 場合は使用不可



警告

体重 15kg 以上 36kg 以下は、ジュニアシートモード・ブースターシートモードのどちらでも使用可能ですが、ブースターシートモードで使用する車両シートベルトがお子さまの首にかかる場合はジュニアシートモードで使用してください。



危険

本製品のインパクトシールドを誤って取扱うと本来の機能をはたさず大変危険です。必ず本書の P22 を確認し正しく使用してください。



注意

取外したインパクトシールドは車内に放置しないでください。
車内に転がって運転の妨げになり思わぬ事故につながるおそれがあります。



警告

お子さまの体重が 15kg を超えるまでは必ずインパクトシールドを使用してください。

カップホルダー

カップホルダーは左右どちらにも取付け可能です。



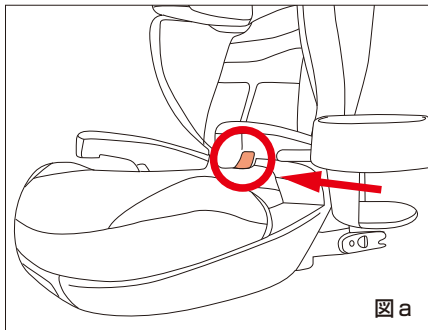
注意

カップホルダーを取付けた状態で上から過度に力を加えないでください。
差し込みバーが破損するおそれがあります。

取付け方法

チャイルドシート本体のアームレスト付近にあるカップホルダー差し込み口にカップホルダー差し込みバーを差し込んでください。

※抜けないように奥までしっかり差し込んでください（図a参照）。

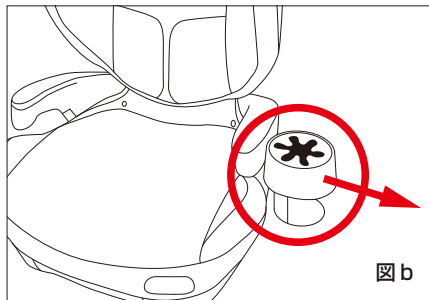


注意

差し込む際は平行に奥まで差し込んでください。
※上下方向に力を加えると、差し込みバーが折れる可能性があります。

取外し方法

カップホルダーを手前に引き抜いてください。
※勢いよく抜ける可能性がございますので周囲に
注意してください(図b参照)。



注意

引き抜く際は平行に抜いてください。

※上下方向に力を加えると、差し込みバーが折れる可能性があります。

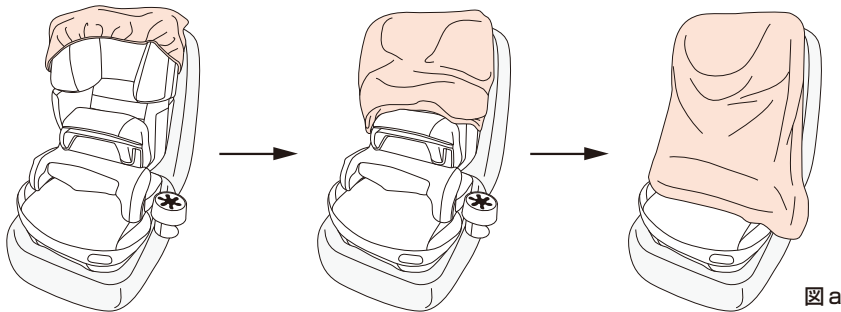
- カップホルダーに熱い飲み物を入れないでください。
- 500ml 以上の飲み物を入れないでください。
- お子さまがカップホルダーに体重をかけないようにしてください。
- カップホルダー内の飲み物が安定していることを確認し、使用してください。
- カップホルダーに保冷・保温効果はありません。飲み物をカップホルダーに入れた状態で車内に放置していた場合、飲み物が熱くなる可能性があります。

インパクトシールドの使用方法



警告

夏期や暑い日は特に樹脂部分等が熱くなります。お子さまを乗せる前に、必ず触って熱さの程度を確かめ、やけどしないことを確認してください。
大人があまり熱く感じなくても、お子さまの場合は低温やけどするおそれがありますので注意してください。駐車の際は必ず付属のカバーで、本体・インパクトシールド・カップホルダーを覆ってください(図a参照)。



注意

背面までしっかりと覆ってください。

■ 本体への設置方法

インパクトシールドのベルトガイド (赤) が前を向くようにして、インパクトシールドの両サイドにある凹みに、アームレストをはまるように差し込みます(図 b 参照)。

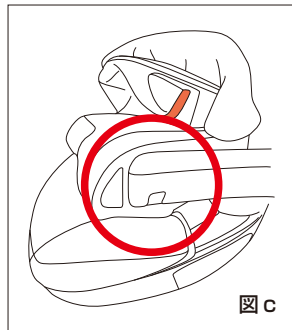
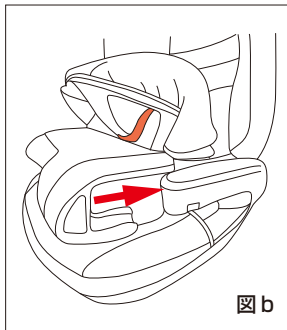
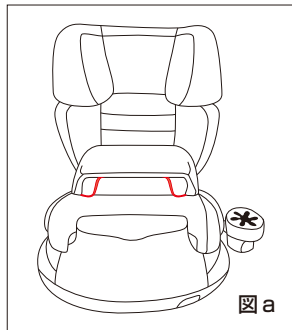
アームレストの先端が、インパクトシールドにあたるまで差し込めれば設置完了です(図 c 参照)。

取外す際は、逆の手順となります。



▶ 動画で解説

インパクト
シールドの設置



調節方法



ポイント インパクトシールドは4段階で調節可能です。
お子さまの体格にあわせて調節してください。



動画で解説
インパクト
シールドの調節

引き出し方法

インパクトシールドの両サイドにある調節ボタン（左右2箇所）を押すと、手前に引き出せます（図d参照）。



ポイント 左右のボタンは連動していません。

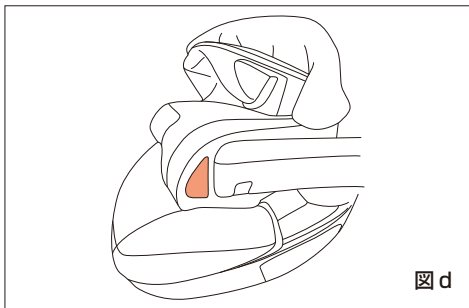


図 d



注意

調節ボタンを押すと、インパクトシールドが勢いよく飛び出すことがありますので、手や指等をはさまないよう十分注意してください。

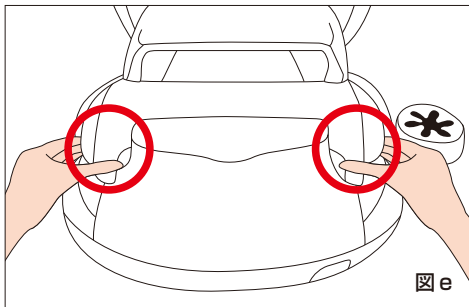
□ 押し込み方法

インパクトシールドの両サイドにある調節ボタン（左右 2箇所）を同時に押しながら奥へ押し込んでください。



ポイント

- ・赤丸部分のくぼみに指をかけると、奥へ押し込みやすくなります(図e参照)。
- ・左右のボタンは連動していません。



警告

お子さまの体重が 15kg を超えるまでは、必ずインパクトシールドを使用してください。



危険

安全のため、走行中にお子さまが乗っていない場合も、必ずインパクトシールドは車両シートベルトで固定してください。
※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。

ISOFIX ベース・ISOFIX コネクター

ISOFIX ベースの引き出し方法



ポイント

ISOFIX コネクターはチャイルドシート本体下部に収納されております。



動画で解説

ISOFIX ベース
の引き出し方法

①リクライニングレバーを手前に引いてください(図a参照)。

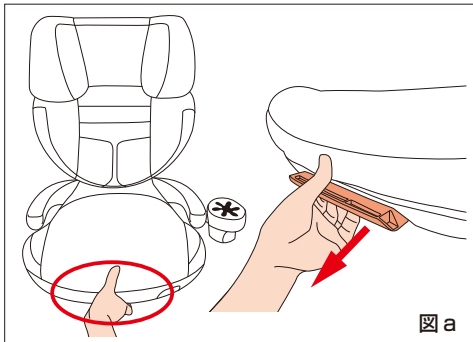
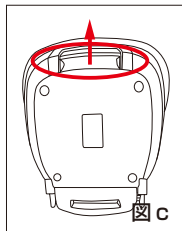


図 a

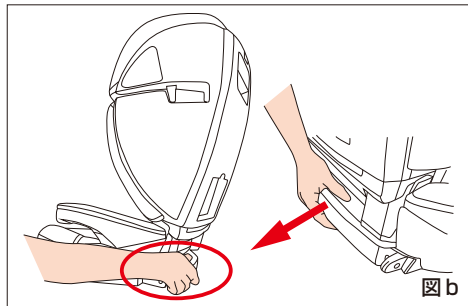


ポイント

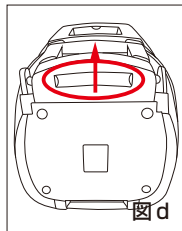


①の操作は座面裏前側の(グレー)のリクライニングレバーに指をかけて、手前に引いてください(図c参照)。

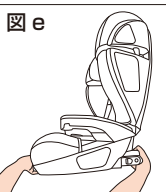
②リクライニングレバーを引きながら背面の ISOFIX ベースを引き出してください。



👉ポイント



②の操作は座面裏後側の(黒)の ISOFIX ベースに指をかけて、後方に引き出してください(図 d 参照)。



👉ポイント

操作しにくい場合はチャイルドシートを横向きに寝かせて、それぞれ引き出してください。

⚠️注意

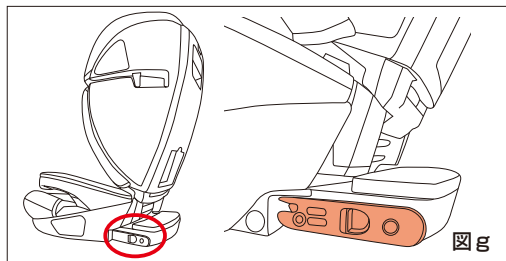
横向きで試す際は、本製品が固定されず転がりますのでけがをしないよう注意してください。横向きで試す際は、床等に傷がつかないように注意してください。

 **ポイント** 全て引き出さないと、ISOFIX コネクターが引っかかり出せません。
最大限引き出すようにしてください。

③ISOXIX ベースを全て引き出してください(図 f 参照)。

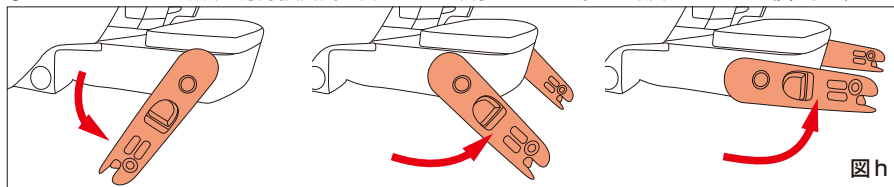


ISOFIX コネクターの取出し方法



▶ 動画で解説
ISOFIX コネクターの
取出し方法

- ①ISOFIX コネクターの位置を確認してください。
- ②ISOFIX コネクターを矢印の方向(反回転)に回しながら、平行になるまで動かし、取出してください(図 h 参照)。



 **ポイント** ISOFIX コネクターは、平行になった状態では固定されずに動きます。

ISOFIX の取付け方法

ISOFIX を取付ける前の準備

- ISOFIX ベースを最大限引き出してください(P25 参照)。
- ISOFIX コネクターを平行になるまで動かしてください(P28 参照)。



動画で解説

ISOFIX の
取付け方法



ポイント

車両側ヘッドレストとチャイルドシートが干渉して正しく取付けられない場合は、車両側ヘッドレストを最上段に固定するか、車両側ヘッドレストを外してください。

車両への取付け方法

ISOFIX キャップ



ISOFIX
取付バー



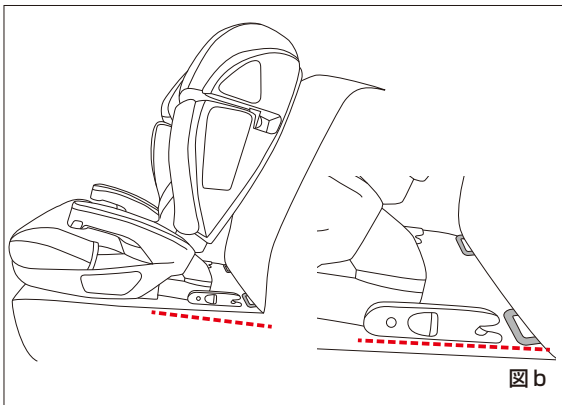
図 a

①車両側の ISOFIX 取付けバーの位置を確認してください(図 a 参照)。



ポイント

ISOFIX 取付けバーが車両シートにかくれて見えにくい場合は、付属の ISOFIX キャップを使用することでチャイルドシートが取付けやすくなります(図 a 参照)。
※車のシートによっては ISOFIX キャップが取付けられない場合があります。
その場合は、ISOFIX キャップを使用せずにチャイルドシートを取付けてください。



②ISOFIX コネクターが平行になるように調節してください(図 b 参照)。

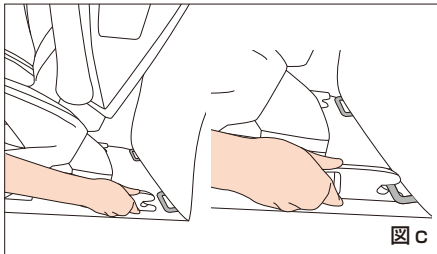
図 b



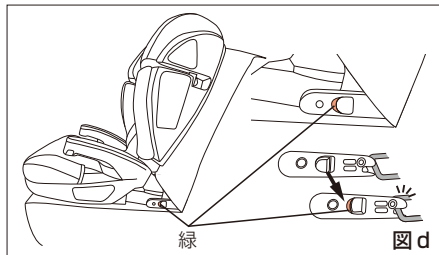
ポイント

差し込み時は ISOFIX コネクターが動くので、動かないように稼動部分を持って固定し、作業を行ってください。

③ISOFIX コネクターを車両側の ISOFIX 取付けバーに 2 本同時に「カチッ」と音がするまでまっすぐ差し込んでください(図 c 参照)。

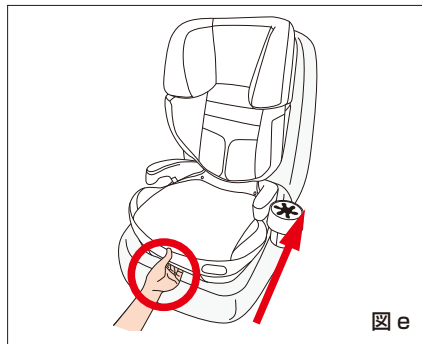


④ISOFIX インジケーターが左右ともに「緑」になっていることを確認してください(図 d 参照)。



⑤ ISOFIX にて車両への取付け完了後 ISOFIX ベースは一番奥に戻してください。

※リクライニングレバーを引き出しながら本体を車両シートに押し込む(図 e 参照)。



 **ポイント** ⑤の操作は必ずリクライニングレバーを引き出しながらおこなってください。

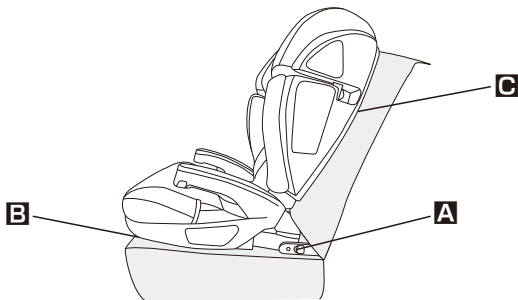


危険

- 安全のため、走行中お子さまが乗っていない場合も、必ず ISOFIX と車両シートベルトで固定してください。
- インパクトシールドも同様に、走行中は車両シートベルトで固定してください。
※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。

チェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



チェックリスト

- ☐ **A** ISOFIX コネクターが車両側の ISOFIX 取付けバーに固定され、ISOFIX インジケーターが2本とも「緑」になっていること。
- ☐ **B** チャイルドシートが車両シートからはみ出していないこと。
チャイルドシート底面がしっかりと座面に接していること。
- ☐ **C** チャイルドシートが車両背もたれにしっかりと密着していること。

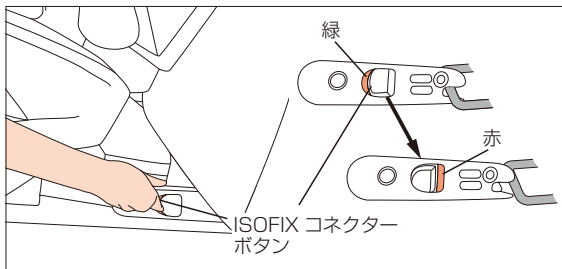
ISOFIX の取外し・収納方法

車両からの取外し方法



▶ 動画で解説
車両からの
取外し方法

ISOFIX コネクターボタンを押すと車両
とのロックが外れます。



ISOFIX ベース・コネクターの収納方法

それぞれ下記ページの逆手順で行ないます。

- ISOFIX ベース→P25 ISOFIX ベースの引き出し方法
- ISOFIX コネクター→P28 ISOFIX コネクターの取出し方法



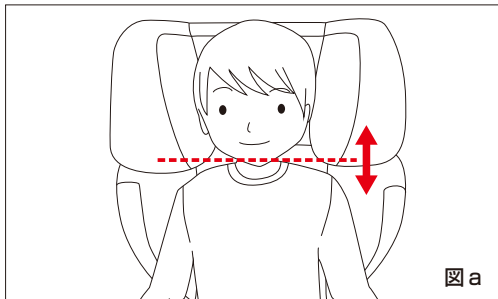
▶ 動画で解説
ISOFIX ベース・
バーの収納方法

ヘッドレストの高さ調節

ヘッドレストの位置は7段階で調節可能です

ヘッドレストの高さの目安

ヘッドレストを適切な位置に調節してください。
その目安は肩ベルトガイドがお子さまの肩と同じ
位の高さになります(図a参照)。

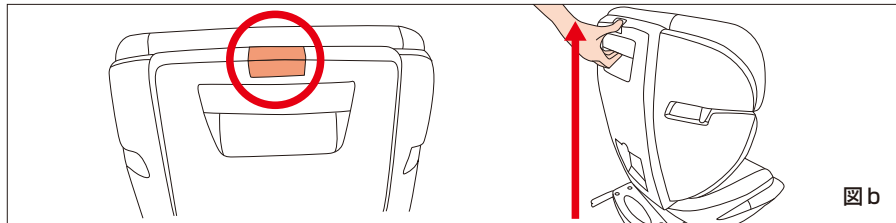


ヘッドレストの高さ調節方法

①本体上部にあるヘッドレスト調節ボタン(赤丸部分)を押しながら、すぐ下の凹みに指を入れて、ヘッドレストを上下に動かし正しい位置に調節してください(図b参照)。



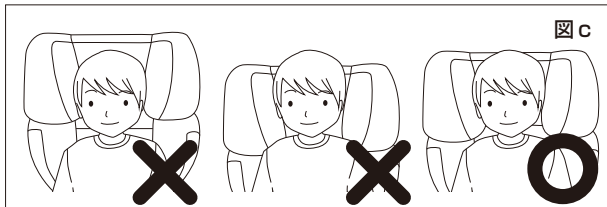
▶ 動画で解説
ヘッドレストの
高さ調節



図b

②適切な位置でヘッドレスト調節ボタンから手を離してください(図c参照)。

③ヘッドレストを上下に動かし、固定されていることを確認してください。



図c

リクライニング



ポイント

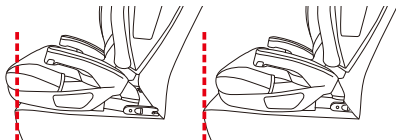
本品のリクライニングは①リクライニングレバーを使用する方法、②リクライニングレバーを使用しない方法があります。



警告

リクライニング時は車両シートから本製品がはみ出さない範囲で調節し使用してください。

はみ出してしまう場合①の方法は使用できません。



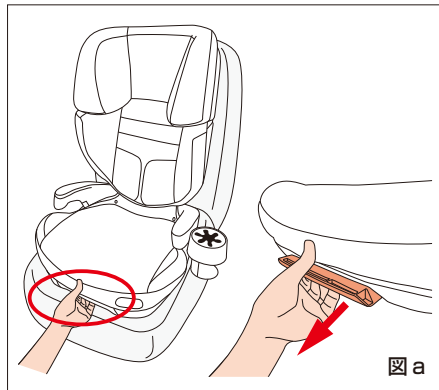
- リクライニング操作時は、お子さまの指や手を近づけないよう十分注意してください。手や指等がはさまれ、けがをするおそれがあります。また、同乗者の手元も同様に十分注意してください。
- ゴミや飲食物が入ると故障の原因になります。

①リクライニングレバーを使用する方法

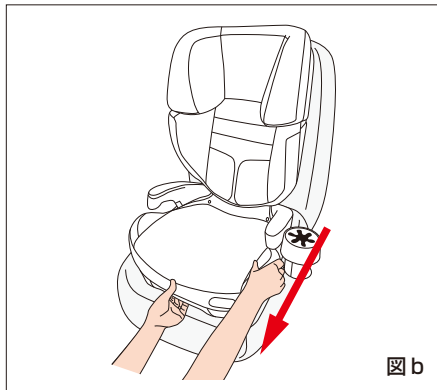


▶ 動画で解説
リクライニング
の方法①

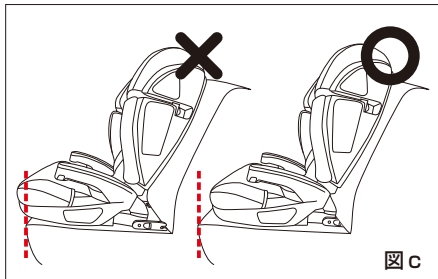
①リクライニングレバーを手前に引っ張って引き出してください(図a参照)。



②リクライニングレバーを引っ張りながら座面を手前に引き出してください(図b参照)。

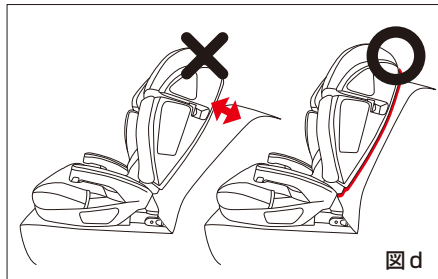


③チャイルドシートが、車両シートからはみ出さないように調節してください。



④車両シートを倒してください。

※倒しすぎ注意



警告

④の操作時、本製品が車両背もたれにしっかりと密着するよう調節してください。



危険

リクライニング操作完了後、本製品が固定されていることを必ず確認し、使用してください。

②リクライニングレバーを使用しない方法



▶ 動画で解説
リクライニング
の方法②

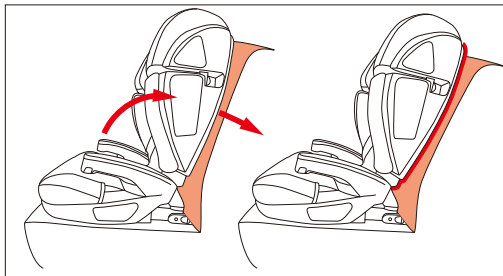


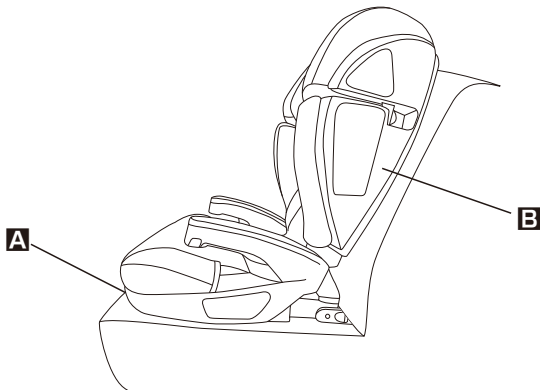
警告

本製品が車両背もたれにしっかりと密着するよう調節してください。

①車両シートの背もたれを本体と隙間がない状態になるように倒してください。

※本体と隙間ができる角度まで倒さないでください(図 d 参照)。





チェックリスト

- ☐ **A** チャイルドシートが車両シートからはみ出していないこと。
- ☐ **B** チャイルドシートが車両背もたれにしっかりと密着していること。

インパクトシールドモードの使用方法



警告

体重が 15kg を超えるまでは、必ずインパクトシールドを使用してください。

使用条件

- お子さまの体重が 9kg 以上であること。
- 体重が 15kg 未満のお子さまは、必ずインパクトシールドを使用する必要があります。

お子さまを乗せる前の準備



警告

- 車両シートベルト取付けの場合はチャイルドシートが固定されていませんので、お子さまを乗せて、インパクトシールド固定が完了するまではお子さまから目を離さないでください。
- ISOFIX 取付バーが装備されている場合は ISOFIX 取付けをして、座席にチャイルドシートを固定してからお子さまを乗せてください。
※ お子さまを乗せた状態で、取付けをしないでください。
お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。



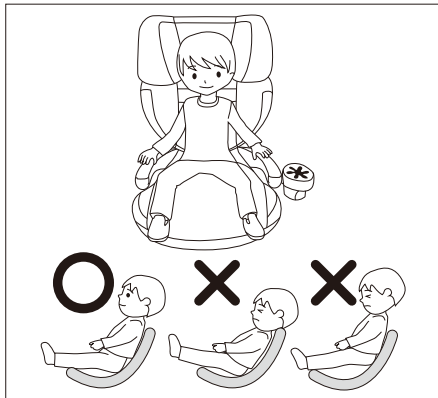
動画で解説
インパクトシールド
モードの使用方法

本製品が正しくお車に取付けできているか確認。

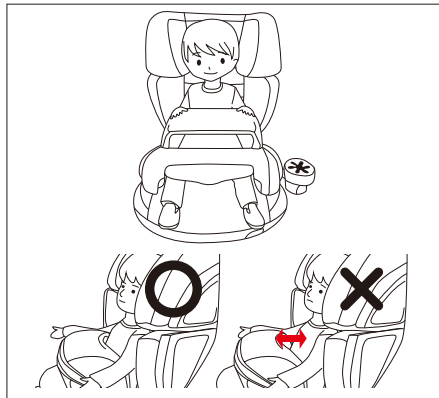
- ☐ ISOFIX 取付の場合：ISOFIX インジケータの表示が左右ともに緑の表示になっているか (ISOFIX の取付け方法 P29 参照)
- ☐ チャイルドシートが車両シートからはみ出していないか (リクライニング P39 参照)
- ☐ チャイルドシートが車両背もたれにしっかりと密着しているか (リクライニング P39 参照)

お子さまの乗せかた

①インパクトシールドを外しお子さまを背中とお尻が背もたれに密着するように深く座らせてください。



②インパクトシールドをお子さまの胸にしっかりと密着させてください。

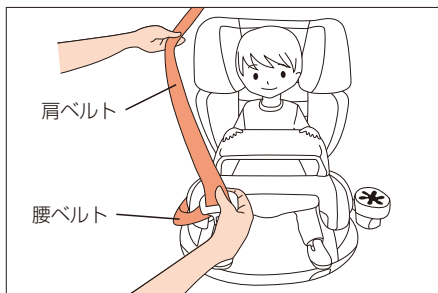


③車両シートベルトを最大限引き出してください。



ポイント

シートベルトの種類によっては、一旦引き出すのを止めるとそれ以上引き出せない場合があります。全て引き出してから作業を行ってください。

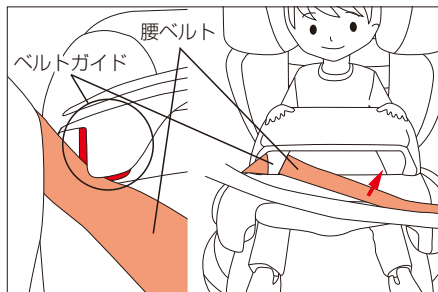


④車両シートベルト(腰ベルト)をベルトガイドに通してください。



ポイント

腰ベルトにねじれがないか確認しながら作業を行ってください。



⑤車両シートベルトをバックルに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



ポイント

バックルに差し込んだ後、お子さまが苦しくないか確認してください。

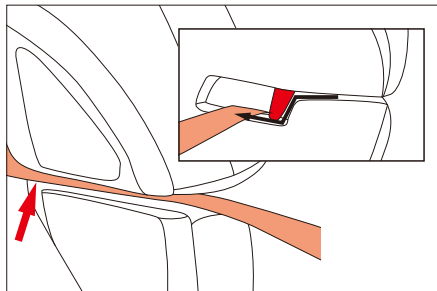


⑥車両シートベルト(肩ベルト)を肩ベルトガイドに通してください。



ポイント

肩ベルトにねじれがないか確認しながら作業を行ってください。



⑦肩ベルトガイドに通し終わったあとはお子さまの手等が引っかかっていないか確認してください。



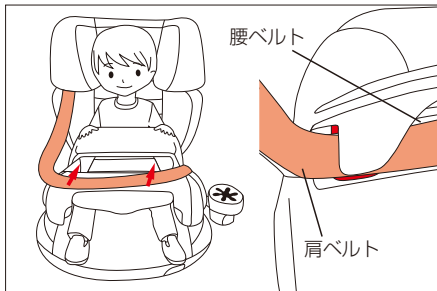
ポイント 肩ベルトにねじれがないか確認してください。



⑧車両シートベルト(肩ベルト)をベルトガイドに通してください。



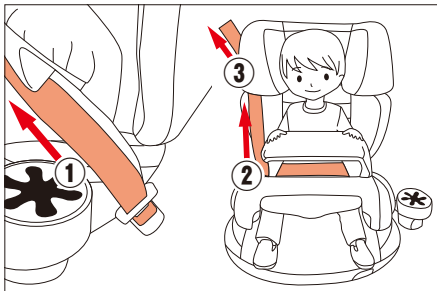
ポイント 肩ベルトにねじれがないか確認してください。



⑨車両シートベルト(肩・腰ベルト)のゆるみを巻き戻してください。



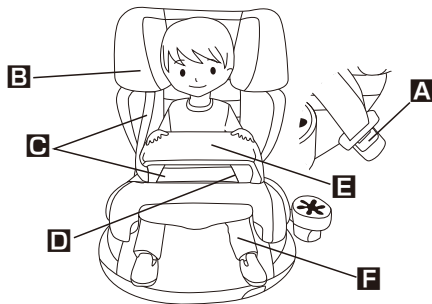
ポイント ゆるみの巻き取りは①→③→③の順に行なってください。



⑩全てのベルトにねじれ・ゆるみがないか確認してください。確認ができたなら、取付けは完成です。

走行前のチェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



チェックリスト

- ☐ **A** 車両シートベルトが、バックルに「カチッ」と音がするまで差し込まれていること。
- ☐ **B** ヘッドレストが、適切な位置に調節されていること。
- ☐ **C** 車両シートベルトの「肩ベルト」・「腰ベルト」に、ゆるみ・たるみ・ねじれがないこと。
- ☐ **D** 車両シートベルトの「肩ベルト」・「腰ベルト」が左右のベルトガイド（赤）を確実に通っていること。
- ☐ **E** インパクトシールドがお子さまの胸にしっかりと接していること。
- ☐ **F** お子さまの背中とお尻が背もたれに密着するように座席に深く座っていること。

ジュニアシートモードの使用法



警告

体重 15kg 未満のお子さまは必ずインパクトシールドを使用してください。

使用条件

- お子さまの体重が 15kg 以上であること。
- 体重が 15kg 未満のお子さまは、必ずインパクトシールドを使用する必要があります。



警告

- 車両シートベルト取付けの場合はチャイルドシートが固定されていませんので、お子さまを乗せて、シートベルト拘束の全てが完了するまではお子さまから目を離さないでください。
- ISOFIX 取付バーが装備されている場合は ISOFIX 取付けをして、座席にチャイルドシートを固定してからお子さまを乗せてください。
※ お子さまを乗せた状態で、取付けをしないでください。
お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。
- 取外したインパクトシールドは車内に放置しないでください。
※ 車内に転がって運転の妨げになり思わぬ事故につながるおそれがあります。

本製品が正しくお車に取付けできているか確認。

- ☐ ISOFIX 取付の場合：ISOFIX インジケータの表示が左右ともに緑の表示になっているか (ISOFIX の取付け方法 P29 参照)
- ☐ チャイルドシートが車両シートからはみ出していないか (リクライニング P39 参照)
- ☐ チャイルドシートが車両背もたれにしっかりと密着しているか (リクライニング P39 参照)



ポイント

ジュニアシートモードでは、付属のインパクトシールドを使用せず車両のシートベルトのみでお子さまを固定します。

お子さまを乗せる前の準備

- 取外したインパクトシールドは車内に放置しないでください。
- ヘッドレストをお子さまの肩の高さにあわせて調節してください（ヘッドレストの高さ調節 P20 参照）。



動画で解説
ジュニアシート
モードの使用方法

ポイント

ヘッドレストの高さの目安は
肩ベルトガイドがお子さまの
肩と同じ位の高さになります。



お子さまの乗せかた

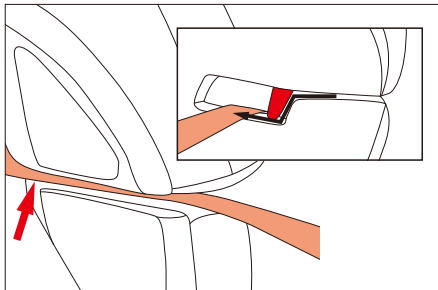
①お子さまを深く座らせてください。



②車両シートベルト（腰ベルト）が左右の腰ベルトガイドを通るようにして車両バックルに差し込んでください。
※お子さまの骨盤の上に車両シートベルト（腰ベルト）を通してください。

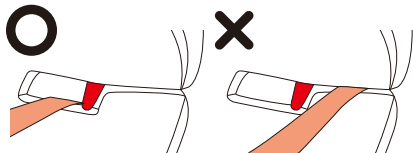


③車両シートベルト（肩ベルト）を肩ベルトガイドに通してください。

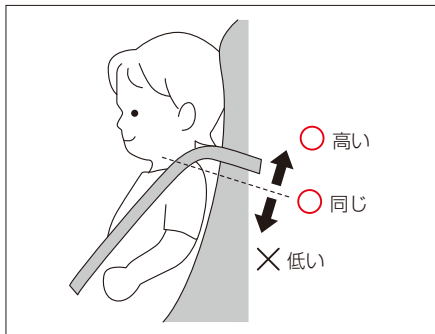


警告

車両シートベルト（肩ベルト）は必ず、肩ベルトガイドの中に通してください。



④ヘッドレストの高さ調節で、車両シートベルト(肩ベルト)がお子さまの肩と同じ位の高さになるように調節してください。



危険

お子さまが成長し、肩ベルトガイドの位置より高くなった場合は、ブースターシートモードへ切替えてください。



警告

走行中や、ヘッドレストの高さ調節の際はお子さまの首に車両シートベルトがかかっていないことを必ず確認してください。

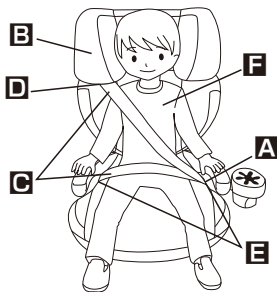


危険

お子さまが成長すると、車両バックルを自身で外してしまうおそれがあります。車両バックルは絶対に触ったり外さないよう、注意してください。

走行前のチェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



チェックリスト

- ☐ **A** 車両シートベルトが、バックルに「カチッ」と音がするまで差し込まれていること。
- ☐ **B** ヘッドレストが、適切な位置に調節されていること。
- ☐ **C** 車両シートベルトの「肩ベルト」・「腰ベルト」に、ゆるみ・たるみ・ねじれがないこと。
- ☐ **D** 車両シートベルト(肩ベルト)が、肩ベルトガイドを確実に通っていること。
- ☐ **E** 車両シートベルト(腰ベルト)が、左右の腰ベルトガイドを確実に通っていること。※お子さまの骨盤の上を通っていること。
- ☐ **F** お子さまの背中とお尻が背もたれに密着するよう座席に深く座っていること。



警告

- ・お子さまの首に車両シートベルトがかかっていないことを、必ず確認してください。
- ・お子さまが成長し、肩ベルトガイドの位置より高くなった場合は、ブースターシートモードへ切替えてください。
- ・お子さまが成長すると、車両バックルを自身で外してしまうおそれがあります。車両バックルは絶対に触ったり外さないよう、注意してください。

背もたれの取外し方法(ジュニアシート→ブースターシート)



注意

●お子さまがはさまれて、けがをするおそれがあります。

※作業中はお子さまを近づけないようにしてください。

また、車内では作業を行わず、室内の安全な場所でお子さまを近づけず作業を行なってください。

取外し前の準備

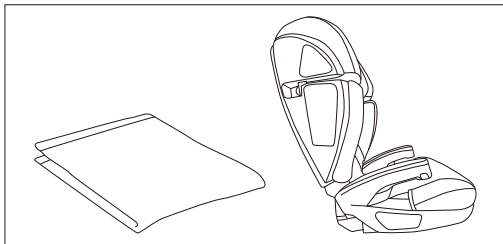


動画で解説

背もたれの
取外し方法

背もたれを倒す際は、勢いよく倒れます。

作業前に、床や背もたれが接する面にクッションや厚手のタオルなどを置いてから作業を行なってください。



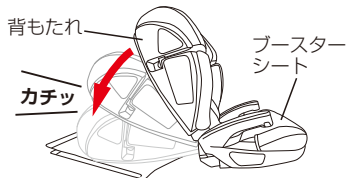
背もたれの取外し方法

①ブースターシートを押さえながら、背もたれを後に倒してください。



ポイント

背もたれとブースターシートの取付けは固い仕様です。倒す際、勢いよく後に倒さないよう注意してください。

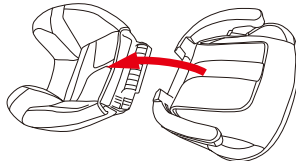


②背もたれとブースターのジョイント部を取外してください。



ポイント

取外しは背もたれを持ち上げるとスムーズに取外せます。



ポイント ブースターシートの背もたれカバーは取外すことができません。



危険

背もたれは、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。

ブースターシートモードの使用法



警告

体重 15kg 未満のお子さまは必ずインパクトシールドを使用してください。

使用条件

- お子さまの体重が 15kg 以上であること。
- 体重が 15kg 未満のお子さまは、必ずインパクトシールドを使用する必要があります。



警告

- 車両シートベルト取付けの場合はチャイルドシートが固定されていないので、お子さまを乗せて、シートベルト拘束の全てが完了するまではお子さまから目を離さないでください。
- ISOFIX 取付バーが装備されている場合は ISOFIX 取付けをして、座席にチャイルドシートを固定してからお子さまを乗せてください。
※ お子さまを乗せた状態で、取付けをしないでください。
お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。
- 取外した背もたれやインパクトシールドは車内に放置しないでください。
※ 車内に転がって運転の妨げになり思わぬ事故につながるおそれがあります。

本製品が正しくお車に取付けできているか確認。

- ☐ ISOFIX 取付の場合：ISOFIX インジケータの表示が左右ともに緑の表示になっているか (ISOFIX の取付け方法 P29 参照)
- ☐ チャイルドシートが車両シートからはみ出していないか (リクライニング P39 参照)



ポイント

ブースターシートモードで使用する車両シートベルトがお子さまの首にかかる場合はジュニアシートモードで使用してください。

お子さまを乗せる前の準備

- 取外したインパクトシールドは車内に放置しないでください。
- 取外した背もたれは車内に放置しないでください。



 動画で解説
ブースターシート
モードの使用方法



警告

車両シートのリクライニングを倒した状態では、本製品を正しく使用することができません。車両シートのリクライニングは倒さず使用してください。



注意

車両側ヘッドレストを取付けてください。

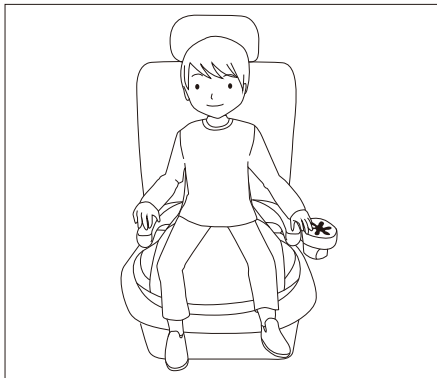


ポイント

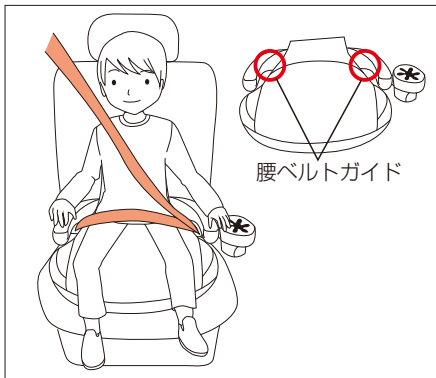
ブースターシートの背もたれ部分のカバーは取外すことができません。
カバーをつけたまま使用してください。

お子さまの乗せかた

①お子さまを深く座らせてください。



②車両シートベルト（腰ベルト）が左右の腰ベルトガイドを通して車両バックルに差し込んでください。※お子さまの骨盤の上に車両シートベルト（腰ベルト）を通してください。



③車両シートベルト（肩ベルト）が正しい位置にくるように調節してください。



危険

車両シートベルトの位置が、「内過ぎる」「外過ぎる」箇所でご使用されますと衝撃を受けた際、お子さまの首を圧迫したりお子さまが車両シートベルトより飛び出し重大な事故につながるおそれがあります。



危険

お子さまが成長すると、車両バックルを自身で外してしまうおそれがあります。車両バックルは絶対に触ったり外さないよう、注意してください。



警告

本製品を安全にご使用頂くために、お子さまを乗せる前・乗せた後は都度、チェックリストを確認し使用してください。

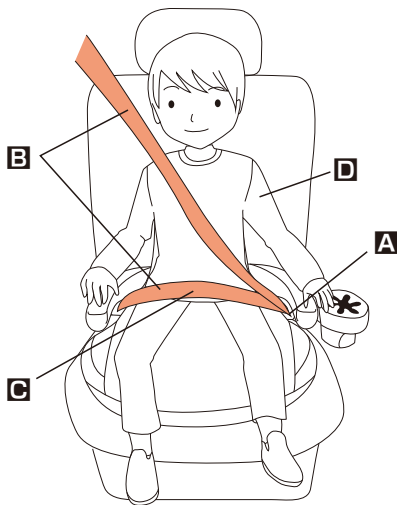


注意

お子さまが自分で本製品に乗り降りできるようになっても、保護者の方等大人の監視のもとで乗り降りさせるようにしてください。

走行前のチェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



チェックリスト

- ☐ **A** 車両シートベルトが、バックルに「カチッ」と音がするまで差し込まれていること。
- ☐ **B** 車両シートベルトの「肩ベルト」・「腰ベルト」に、ゆるみ・たるみ・ねじれがないこと。
- ☐ **C** 車両シートベルト(腰ベルト)が、左右の腰ベルトガイドを確実に通っていること。
※お子さまの骨盤の上を通っていること。
- ☐ **D** お子さまの背中とお尻が背もたれに密着するよう座席に深く座っていること。



警告

お子さまの首に車両シートベルトがかかっていないことを、必ず確認してください。

背もたれの取付け方法(ブースターシート→ジュニアシート)



注意

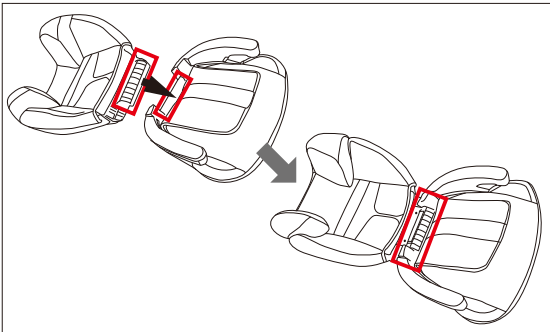
●お子さまがはさまれて、けがをするおそれがあります。

※作業中はお子さまを近づけないようにしてください。

また、車内では作業を行わず、室内の安全な場所でお子さまを近づけず作業を行なってください。

背もたれの取付け方法

①背もたれのジョイント部分を、ブースターシートのジョイント部分にあわせて上から、しっかりとはめ込みます。



動画で解説

背もたれの
取付け方法



ポイント

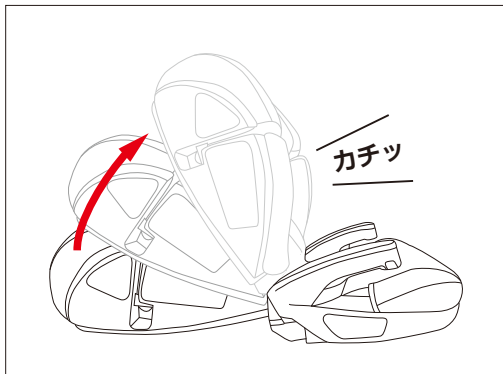
カバーがはさまらないよう注意してください。

②固定されるまで背もたれシートを起こしてください。



ポイント

背もたれが起こしにくい場合は、シートがはさまっていないか確認してください。



警告

背もたれとブースターのジョイント部分にカバーがはさまっていると背もたれが突然外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

シートカバー

インパクトシールド

取外し方法

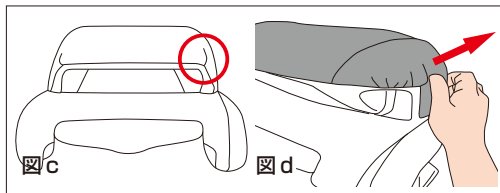
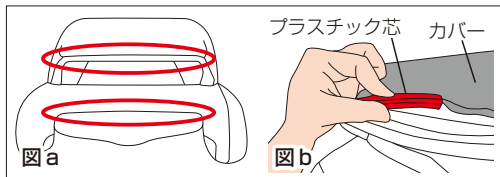


▶ 動画で解説
インパクトシールド
カバーの取外し方法



ポイント

図aの赤丸部分（溝）に
プラスチック芯（図b）が
入っています。
取外しの際、無理に引っ
張らないよう注意して
ください。



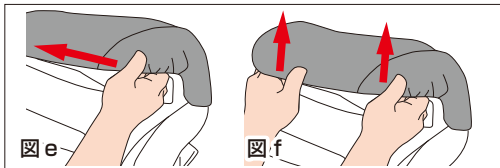
①インパクトシールドの上部（図c）を図dの方向
に引っ張り、溝からシートカバーを取外してくだ
さい。



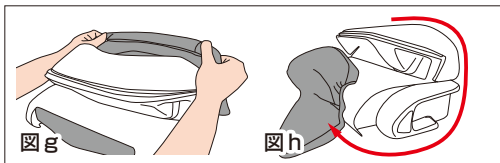
注意

プラスチック芯で指をけがし
ないように注意してください。

②シートカバーを取出した隙間へ指を入れ少しず
つシートカバーを取外してください。



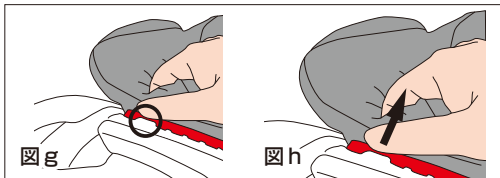
③シートカバー全体を持ち、前側に移動するよう
に取外してください。



注意

指や手をけがさないよう注
意してください。

④下側のプラスチック芯はシートカバーの根元を
持ちツメの部分から取外してください。



注意

勢いよく取外すと、シートカバーが破れるおそれがあります。引っかかりがある場合は無
理に外さず、引っかかり箇所を確認しながら取外してください。

取付け方法



ポイント

シートカバーを付ける際は、上部のプラスチック芯より作業を行ってください。



動画で解説

インパクトシールド
カバーの取付け方法



注意

プラスチック芯で指をけがしない
よう注意してください。

①図のように本体にカバーを乗せて下さい。



ポイント

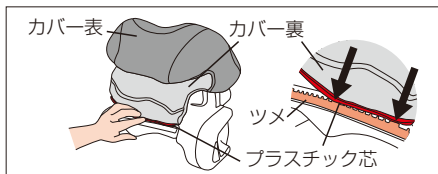
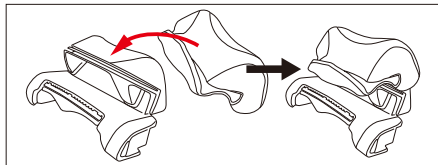
プラスチック芯のとがっている
方をインパクトシールドの溝に
差し込みます。

②下側のプラスチック芯を少しずつ溝・ツメに押し込み
取付けてください。

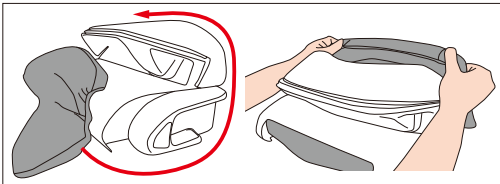


ポイント

プラスチック芯が溝に差し込みにくい場合は、先の細いマイナスドライバー等を使用
してください。シートカバーが破れないよう注意して作業を行ってください。



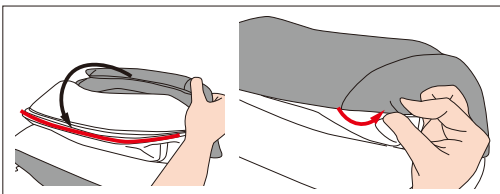
③カバーをくると回してインパクトシールド全体にかぶせてください。



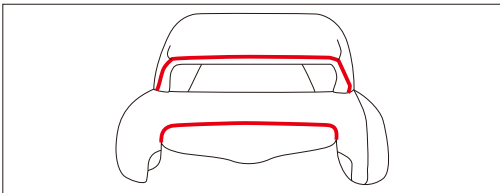
ポイント

プラスチック芯の
とがっている方をイン
パクトシールドの溝に
差し込みます。

④上部のプラスチック芯をシートカバーに折込み溝(赤線)に差し込み、押込んで取付けてください。



⑤シートカバーが出ている部分は溝に入れ込んでください。最後にシートカバーがインパクトシールドの溝から出ていないか確認してください。



ヘッドレスト・背もたれ

取外し方法



▶ 動画で解説

ヘッドレスト・
背もたれカバーの
取外し方法



ポイント

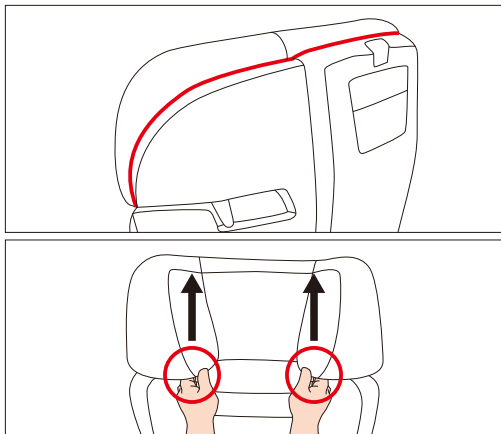
ヘッドレストのプラスチック芯は上部とサイド左右2箇所に入っています。取外しの際、無理に引っ張らないよう注意してください。



ポイント

この部分にプラスチック芯は入っていません。

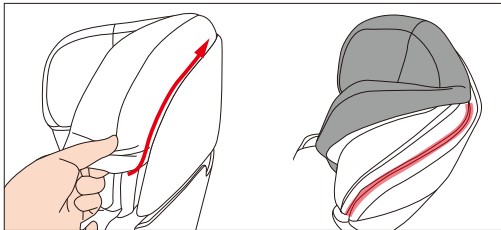
①ヘッドレスト下部の隙間より、シートカバーを取出し、ゆっくり上に向かって取外してください。





ポイント 作業は片方ずつ、左右ともに行なってください。

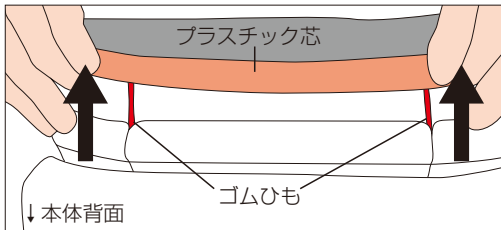
②プラスチック芯（サイド）部分を持ちシートカバーを上に向かって取外してください。



注意

赤丸部分にゴムひも（ヘッドレスト）があり、引っ張れる範囲に限界があります。

③プラスチック芯（上部）の端と端を両手で持ち、上に引っ張りシートカバーを取外してください。

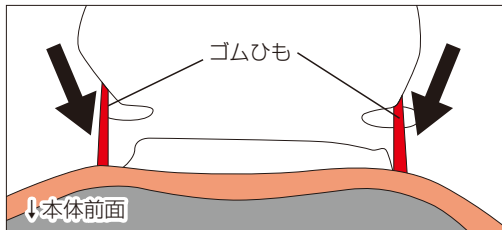




注意

ゴムひもが切れないように、無理に引っ張らないよう注意してください。

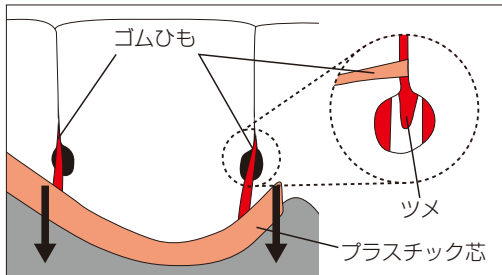
- ④シートカバーを手前に引っ張りながら、ゆっくり下に向かって取外してください。



ポイント

ゴムひもがツメから取外しにくい場合は、先の細いマイナスドライバー等を使用してください。

- ⑤ゴムひも（ヘッドレスト）をヘッドレスト本体のツメより取外してください。





ポイント

ゴムひもがツメから取外しにくい場合は、先の細いマイナスドライバー等を使用してください。



注意

ゴムひもが切れないように、無理に引っ張らないよう注意してください。

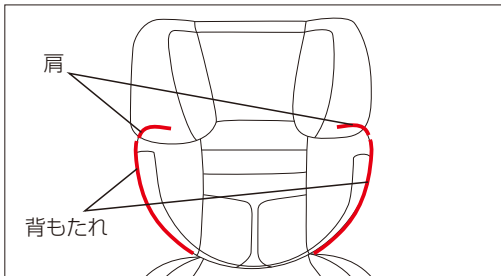
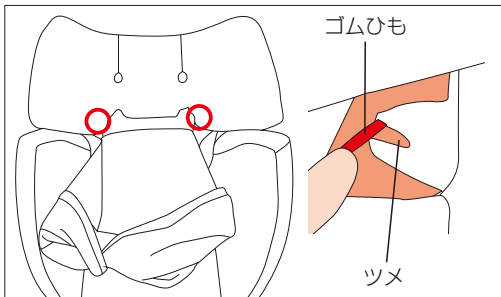
⑥ゴムひも（背もたれ）を本体より取外してください。



注意

取外しの際、無理に引っ張らないよう注意してください。

⑦プラスチック芯（肩）左右2箇所・プラスチック芯（背もたれ）左右2箇所に入っています。

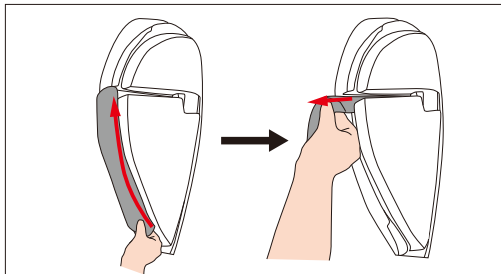




ポイント 作業は片方ずつ、左右ともに行なってください。

⑧プラスチック芯(背もたれ)の部分を持ちシートカバーを上に向かって取外してください。

⑨プラスチック芯(肩)を持ち、横にスライドするように取外してください。



注意

- 勢いよく取外すと、シートカバーが破れるおそれがあります。引っかかりがある場合は無理に外さず、引っかかり箇所を確認しながら取外してください。
- 先が鋭利な物を使用すると、破れ等の破損につながるおそれがあります。注意して作業を行なってください。

取付け方法



ポイント

作業を行なう際、ブースターシートは取付けた状態にすると安定し、スムーズに作業を行なえます。



動画で解説

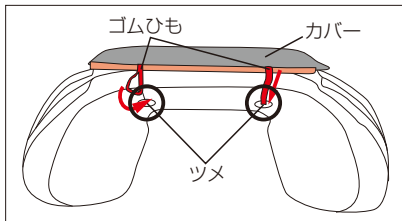
ヘッドレスト・
背もたれカバーの
取付け方法



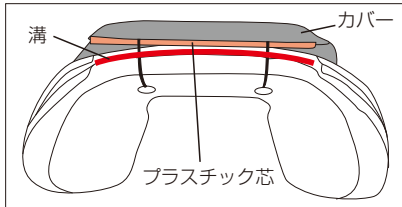
ポイント

ゴムひもがツメに取付けにくい場合は先の細いマイナスドライバー等を使用してください。

①シートカバーを裏返した状態で背面側に準備し、左右のゴムひも(ヘッドレスト)を本体のツメに取付けてください。



②プラスチック芯(ヘッドレスト)より赤線の箇所に差し込んでください。

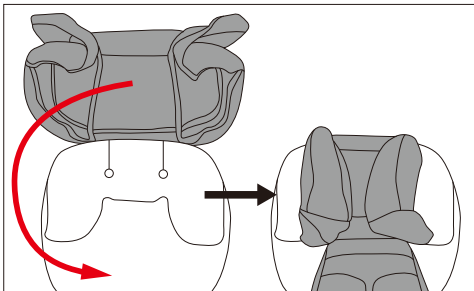




ポイント

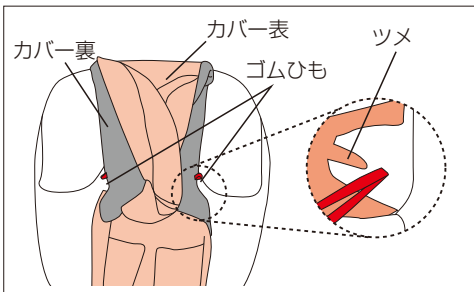
ゴムひもがツメに取付けにくい場合は先の細いマイナスドライバー等を使用してください。

③シートカバーを前側に被せるようにして移動してください。



④左右のゴムひも（背もたれ）を本体ツメに取付けてください。

※ツメ部分が確認しにくい場合は、肩ベルトガイドの側面から確認すると見やすいです。

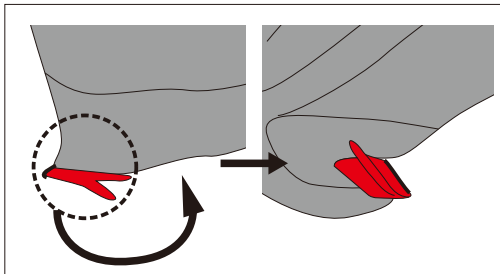




ポイント

プラスチック芯のとがっている方を溝に差し込みます。

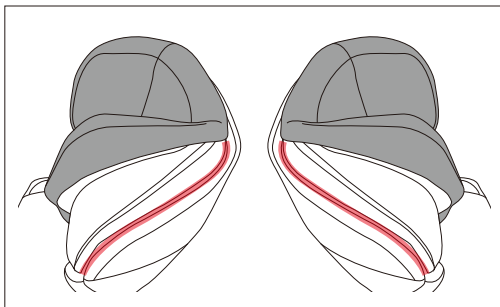
⑤プラスチック芯をシートカバーに折込むようにして準備をしてください。



注意

プラスチック芯で指をけがしないよう注意してください。

⑥左右のヘッドレストの溝にプラスチック芯を片方ずつ差し込んで、シートカバーを取付けてください。

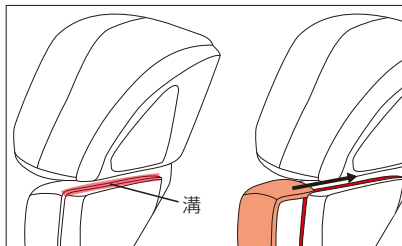




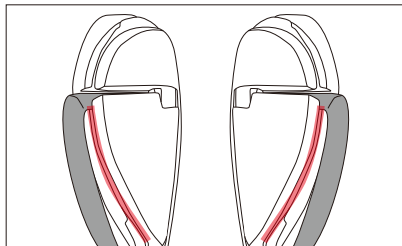
ポイント

プラスチック芯をスライドするように取付けるとスムーズに作業が行なえます。

⑦左右のプラスチック芯(肩)を片方ずつ溝に差し込んで取付けてください。



⑧左右のプラスチック芯(背もたれ)を片方ずつ溝に差し込んでシートカバーを取付けてください。



ポイント

差し込み時は ISOFIX コネクターが動くので、動かないように稼動部分を持って固定し、作業を行ってください。

ブースターシート

取外し方法

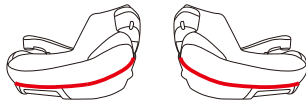


動画で解説
ブースターシート
カバーの取外し方法

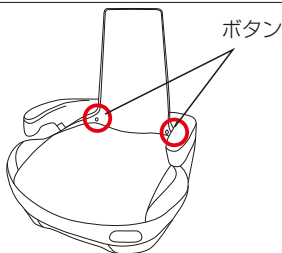


ポイント

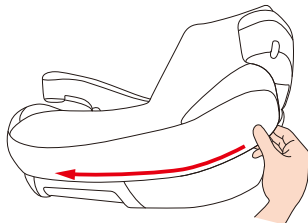
ブースターシートのプラスチック芯は下部(赤線部)に入っています。取外しの際、無理に引っ張らないよう注意してください。



①腰付近にあるボタンを外してください。



②プラスチック芯の端(根元)を持ちゆっくり取外してください。





ポイント

ブースターシートのプラスチック芯は全て繋がった状態です。

右端から取外し、途中引っかかりたり取外しにくい場合は、反対の端より取外してください。



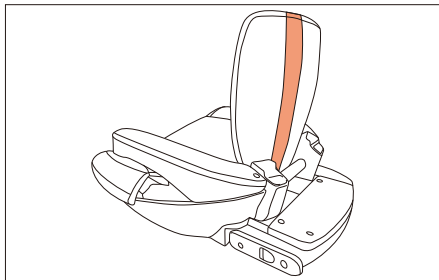
注意

勢いよく取外すと、シートカバーが破れるおそれがあります。引っかかりがある場合は無理に外さず、引っかかり箇所を確認しながら取外してください。



注意

背もたれ裏面の背もたれカバー板は取外することができません。



取付け方法



動画で解説
ブースターシート
カバーの取付け方法



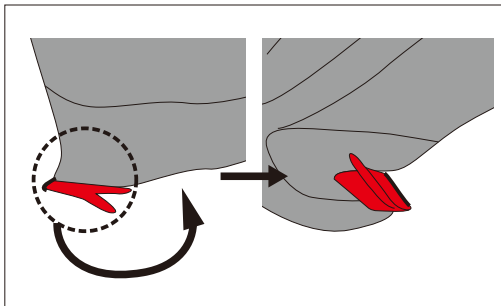
ポイント

ブースターシートカバーを取付ける際、取付けにくい場合は、背もたれを外して作業を行ってください。



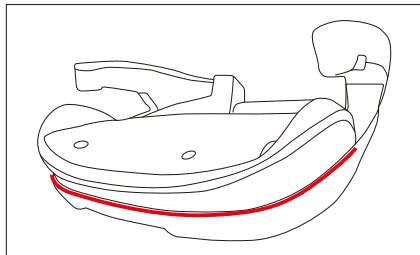
ポイント

プラスチック芯の
とがっている方を溝に
差し込みます。

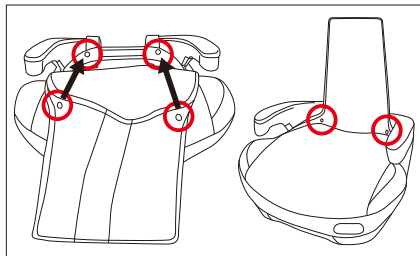


①プラスチック芯をシートカバーに折込むようにして準備をしてください。

②プラスチック芯を右端又は、左端どちらから差し込んでシートカバーを取付けてください。



③腰付近のボタンをとめてください。



ポイント

プラスチック芯が溝に差し込みにくい場合は、先の細いマイナスドライバー等を使用してください。シートカバーが破れないよう注意して作業を行なってください。

お手入れ

シートカバーの洗濯方法



禁止

本製品のお手入れは【洗濯機使用不可】です。
シートカバーが縮んだり、プラスチック芯が破損します。必ず手洗いでお手入れしてください。

ぬるま湯と中性洗剤を使用して、必ず手洗いしてください。
手洗い後は、乾いた布で拭き取ってから、日陰で平干ししてください。



注意

プラスチック芯や、背もたれカバー板は強くもみ洗いすると破損する可能性があります。
洗濯の際は布部分のみ、もみ洗いしてください。



手洗い 30℃



漂白 NG



ドライクリーニング NG



タンブラー乾燥 NG



アイロン NG



日陰で平干し



警告

中性洗剤を原液で使用したり
ガソリン・ベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
本体や、布等を傷めるおそれがあり大変危険です。

■ 本体のお手入れ

固くしぼった布で水ぶきをしてください。

汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落として、水ぶきしてください。

水ぶきした後は、日陰でしっかりと乾燥させてください。

■ インパクトシールドのお手入れ

固くしぼった布で水ぶきをしてください。

汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落として、水ぶきしてください。

水ぶきした後は、日陰でしっかりと乾燥させてください。

インパクトシールドの調節ボタンの中のゴミは掃除機で吸い取るか、エアダスター等で吹き飛ばしてください。

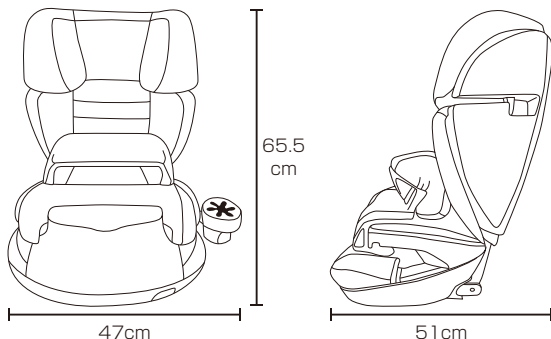
製品情報

本体サイズ

奥行き：51cm

幅：47cm

高さ：65.5cm



材質

本体：PP(ポリプロピレン)/EPS(ポリスチレン)

カバー生地：PE(ポリエステル)

インパクトシールド：PP(ポリプロピレン)/EPS(ポリスチレン)

ドリンクホルダー：PP(ポリプロピレン)

カバー(日除け・保管用)：PE(ポリエステル)/PU(ポリウレタン)

保管方法

- 安全で乾いた場所に保管して、熱や直射日光をさけてください。
- お子さまの手の届かない場所に保管してください。
- 本製品の上に重いものを置かないでください。
- 付属のドリンクホルダー・インパクトシールドも一緒に保管してください。

廃棄方法

- お住まいの各自治体の規定に従い処分、破棄してください。
- 衝突事故や本製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。
- 再利用による事故を防ぐため、廃棄する際はシートカバーを外してから廃棄してください。

取扱説明書の保管方法

本製品をご使用頂く前に必ず本書をよく読み、十分に理解の上、取扱説明書収納ポケット(本体背面)で保管してください。



Neb:O

輸入販売元 株式会社中塚小児車工業所

〒670-0043 兵庫県姫路市小姓町 92

お問い合わせ TEL 079-298-2279 FAX 079-292-6026

受付時間 10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 16:00

(祝祭日を除く 月~金曜日)